

みなお通信

高崎市議会議員 高橋みなお

M 地域の皆さまと
共に歩みます

発行者 高橋みなお事務所
高崎市東貝沢町2-32-6
電話 027-363-2733

交流と創造のまちづくりによる 新たなステージに向けて！

新年明けましておめでとう
ございます。四月の中核
市移行に向け、新しい高崎
市のスタートとなる年を迎
えました。皆様には、健や
かに初春をお迎えのことと
存じます。

また、日頃より市政活動
に対しまして温かいご理解
とご協力を賜り深く感謝申
し上げます。皆様のご支援
のもと、高崎市議会へ送り
出していただきましてから
早いもので十二年になりま
した。その間、市民の目・
市民の声を大切にしたい夢の
ある元気なまちづくりを目
指して、議会活動に取り組
んでまいりました。

さて、昨年七月の参議院

選挙では民主党が大敗、衆
参ねじれ国会という状況の
中、首相交代により新しい
内閣が誕生しました。

就任当事に期待されてい
た「政策実行力」が十分に
発揮されているのか、基礎
年金の国庫負担、子ども手
当てなど財源不足から決断
できない課題に不安を感じ
ている方も多いのではない
でしょうか。

現在の子ども世代に対す
る支援にかかる負担を先送
りにはできません。現金の
給付以外にも保育サービ
スの充実など子育て支援の強
化が求められています。そ
の場しのぎの策ではない、
抜本的な税制改革による財

源確保が必要といえるで
しょう。

本市においては、三度の
合併で県下最大の都市とな
り、スマートインターチェ
ンジ建設、JR高崎駅周辺
開発など交通拠点性を活か
し都市としてのブランド力
を向上させ、次世代に向け
た存在感あるまちの実現が
求められています。

また、昨年十二月市議会
本会議で松浦市長が春の市
長選には立候補しないこと
を表明されました。長年に
わたりリーダーシップを発
揮され都市の整備を着実に
推進してきた成果を今後ど
のように継承するのか、独
自の都市資源を活かした戦
略が将来を左右するといっ
ても過言ではないでしょ
う。

財政面においても厳しい
状況が依然として続くもの
と見込まれており、景気低
迷によって大きな影響を受
けている市民生活や地域経
済に弾みがつくよう願うば
かりです。

市民の皆様と一緒に同じ
目線で地域を見つめ、誰も
が安心して暮らせるまちづ
くりを創造するため、初心
を忘れず、全力で取り組
みますので、本年も変わらぬ

ご指導・ご支援をよろし
くお願いいたします。



市長への政策提言

「新たなチャレンジ」

後援会長 工藤 誠

新年あけましておめで
とうございます。会員の
皆様方におかれましては、
ますますご盛栄のことと
お喜び申し上げます。

また、日頃より高橋み
なお後援会の活動にご理
解とご協力をいただき心
より感謝申し上げます。

さて、美奈雄議員も皆
さまに支えられた十二年
間を総括し新たなチャレ
ンジとなる節目の年でも
あります。後援会として
も今まで以上の緊張感
を持ち、気を引き締めて取
り組む所存です。

高崎市は本年四月に政
令指定都市に次ぐ権限を
有する「中核市」へ移行
し、新たなステージでま
ちづくりが推進されよう
とされていますが、景気低
迷によって大きな影響を
受けている市民生活や地
域経済活性化の施策展開
も大いに期待したいもの
であります。

広域となった高崎市に
おいて、市政活動はもとよ
りボランティア活動、地域
活動と幅広く活躍される
ことを確信しております。

初心を忘れず、まちづ
くり情熱と夢を持ち続
ける美奈雄議員に温かい
ご指導とお力添えを賜り
ますようお願い申し上げます。
新年の挨拶とさせていただきます。

迎春

昨年大変お世話になり
ありがとうございました。
新しい年の皆様のお幸せを
心よりお祈り申し上げます。

平成二十三年初春
高橋みなお

12月定例議会報告

平成二十二年第五回市議会定例会は、十一月三十日から十二月十五日までの十六日間の会期で開かれました。

本定例会では、平成二十二年度高崎市一般会計補正予算、中核市関係議案の高崎市保健所条例の制定について、請負契約締結について（浜尻北交差点改良事業問屋町入口交差点横断歩道橋築造工事）などの審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問は、四日間行われ、高橋みなお議員は三日目に登壇し、質問を行いました。以下概要を報告します。

◎中核市としてのまちづくり計画と都市集客について

質問 第5次総合計画が策定されて年数は浅いが、中核市移行に当たり、総合計画をはじめとした行政計画の事務事業評価に加えて、施策レベルでの評価をどのように実施しているのか。

答弁 「まちづくり市民意識調査」により、市民満足度評価の実施や類似都市等との比較を行う。行政評価システムや評価結果に対する市民の関心はまだ低

い状況にあるので、広く公表し外部評価制度の導入を進めたい。

質問 社会経済情勢や市民意識の変化に対応するためには既に採択した事業の見直しも必要と考える。合併後、地域別工事などは新市においてバランスよく実現されているのか。実効性が求められる計画の取り組み状況は。

答弁 市民の価値観やニーズが多様化している現在、前期基本計画の見直しや市民満足度の評価・分析、検証を行い公表したいと考えている。今後は、社会

経済環境の変化を考慮しながら事業の優先付けや選択に取り組み。

質問 今後の都市間競争においてどのような施策をもって集客都市を目指すかが重要であり、都市力向上につながる認識している。施設整備だけでなく、ソフト面でも次世代に向けた集客力のある都市づくりが必要と考えるが整備推進を検討しているのか。

答弁 二時間圏の交流人口は、北関東自動車道の全線開通や北陸新幹線の金沢延伸により四千六百万人になる。この拠点性を活かしたまちづくりを推進しなければ通過都市になってしまう危機感を認識している。「高崎市集客戦略ビジョン」では、本市全域を集客都市と位置づけており、戦略的な都市経営を行いたい。

質問 交通拠点性や都市資源を活用した都市戦略が本市の将来像に大きな影響を与えると考えるが、都市基盤整備面からはどのような都市づくりに取り組んでいるのか。

答弁 本市が三十年間取り組んできた都市整備基盤の成果が現実のものになろうとしている。高崎駅前周辺整備の充実で、都市全体のグレードが引き上げられ、企業を含めた交流のまちとなる。都市整備は目的を達成するための手段であり投資と考えている。引き続き存在感のある都市として発信していきたい。

質問 北関東自動車道の三月全線開通により、本市との共通点も多い宇都宮市との関係について見解は。

答弁 都市形態において類似点が多いと認識し、政治や経済面でも強敵である。本市の市民力の強さを発揮し、北関東の中心的都市を目指したい。

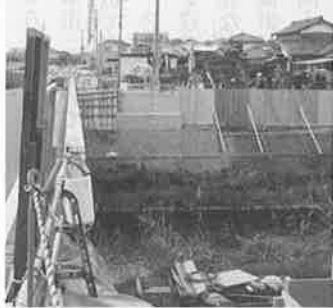
まとめ

高崎の都市集客は、都市機能や市民力を活かし、官民双方が役割を担いながら有機的に結び付くことが重要である。都市の資源と市民の英知を結集して中核市としてのまちづくりに全力を尽くすよう強く要望する。

後記

二〇一〇年を表す漢字に『暑』が選ばれました。夏の猛暑やチリ

新保町(2)の東野橋の拡張工事はじまる！



かねてより地域の要望でありました、東野橋の歩道設置拡幅工事が始まりました、年度内には完成予定です。今後も安心・安全の確保に取り組んでいきます。

市政相談連絡先

☎370-0041
高崎市東貝沢町二丁目32-6
TEL&FAX:027-363-2733
E-mail:minao.t@jcom.home.ne.jp

釜山事故の暑い地下からの生還などが印象に残った結果といえるでしょう。
一方、大学生約一千人が選んだ漢字は『迷』だったそうです。就職が決まらずに将来に迷っている、政治も迷走中等が理由とか。炎天下、暑さに耐えながら就活に汗を流した学生諸君の姿が思い浮かびます。
今年こそ、楽しく元気のある文字を願っているのは私だけではないでしょう。
市政への『熱』思いを忘れずに、何事においても情熱をもって実行していくような心がけたいものです。皆様はどのような漢字を選びますか。